



令和7年4月8日

学校だより



京都市立北総合支援学校

今年の春休みは、あたたかい日と寒さ厳しい日の繰り返して、まさに三寒四温の気候となりました。桜の花も戸惑いを見せているように感じられますが、進級や新入学を迎える児童生徒をお祝いするために、満開になるのを踏ん張ってくれているようにも感じます。あたたかな陽射しとさわやかな春の風が吹く中、令和7年度が始まりました。本年度も校長を務めさせていただきます小田健司です。どうぞよろしくお願いいたします。

北総合支援学校は、156年前の明治2年に上京第2番組小学校として創設され、平成9年3月に127年の歴史に幕を閉じた「成逸小学校」の跡地に、平成16年（2004年）、全国初の総合制・地域制の総合支援学校として開校しました。今年度で開校22年目を迎えます。保護者のみなさまをはじめとして、成逸学区を中心とする地域のみなさま、また各関係機関のご理解ご支援のもと、今年度をスタートできますこと、改めて感謝申し上げます。

昨年度は下京区に北総合支援学校中央分校が開校しました。北総合支援学校とともに『地域協働』と『ウェルビーイング』をキーワードとして教育実践に取り組んできた結果、中央分校においても少しずつ地域の方々に受け入れていただくようになり、開校2年目を迎えることができております。これらのことは開校以来、北総合支援学校が「地域とともに」を合言葉に取組をすすめてきた結果であり、今後も両校は地域とともに歩いていく総合支援学校として実践を積み重ねていくことが大切であると確認できた次第です。

コロナ禍においては地域との交流も少し制限がありましたが、今年度も引き続き『地域協働』と『ウェルビーイング』をテーマに、成逸学区を中心とした地域での多様な活動を展開していきたいと考えております。『ウェルビーイング』とは、身体的にも精神的にも社会的にも良い状態のことを指しますが、引き続き地域のさまざまな資源を活かしながら学習活動を行い、いろいろな人々とかかわり、交流を深めていきたいと考えております。その積み重ねが子どもたちや教職員の『ウェルビーイング』となり、学校が『ウェルビーイング』となれば、そのことが地域にとっての『ウェルビーイング』につながり、その結果さらに『地域協働』がすすんで児童生徒の学習が充実していく好循環を願っています。北総合支援学校がこれまで以上に信頼され、保護者のみなさまにとっても地域にとっても誇りとなる学校になることを目指して今年度も活動を行っていききたいと考えております。

保護者のみなさまにおかれましては、学校の取組に対して様々なご意見もいただきながら、引き続き、本校の教育の推進のためにご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。また、地域、福祉、医療、就労など関係諸機関のみなさまにも、本校の教育の推進のためにご理解、ご支援をいただきながら、児童生徒の明るく楽しい笑顔いっぱいの学校となるように教職員一丸となって取り組んでまいります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



北総合支援学校

校長 小田 健司



令和7年度 着任の教職員

管理職

横井 潤 【副教頭】（西総合支援学校より）

小学部

石上 雄大（西京極小学校より）

畑 重行（西総合支援学校より）

村瀬 宏一（桂坂小学校より）

池部 理加（新規採用）

多田 ことは（新規採用）

奥田 ひとみ（非常勤講師）

石橋 敬子（呉竹総合支援学校より）

堀 桃香（東総合支援学校より）

村山 雅子（桃陽総合支援学校より）

西村 奉人（新規採用）

橋本 卓弥（常勤講師）

中学部

大前 俊裕（西総合支援学校より）

内藤 真義（東山総合支援学校より）

柴田 大地（新規採用）

井尻 菜月（常勤講師）

鋸屋 典子（常勤講師）

西岡 雅子（非常勤講師）

大本 志保（西総合支援学校より）

萩 原 弘（東山総合支援学校より）

山口 翼（新規採用）

岡田 妃乃女（常勤講師）

亀 田 彰（常勤講師）

牧 さくら子（非常勤講師）

高等部

岩本 真理子（東総合支援学校より）

岡 貴志（新規採用）

木 戸 宏（常勤講師）

白尾 真由美（常勤講師）

森 岡 玄（非常勤講師）

小松 宏彰（西総合支援学校より）

渡辺 奈々美（新規採用）

佐久間 久美子（常勤講師）

森 祐子（常勤講師）

支援部

柳森 佐知子（西総合支援学校より）

河 喜代子（非常勤講師）

里 祐子（常勤看護師）

竹田 芽衣（新規採用 養護教諭）

今中 穂波（常勤看護師）

水川 華子（常勤看護師）

総務部

三ツ谷 直子（サポートスタッフ）



